

都城工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	国語
科目基礎情報					
科目番号	0017	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械工学科	対象学年	4		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	『論語』はプリント配布。夏目漱石『行人』（新潮文庫）				
担当教員	望月 高明				
到達目標					
<p>1) 訓点の指示に従って、『論語』の原文を読むことができる。</p> <p>2) 孔子及び朱子の言説を通して、儒家思想を理解し、更には中国思想・文化の特徴を理解することができる。</p> <p>3) 言葉に対して鋭敏な感覚をもち、日本語の表現に対する基礎知識・技術を習得し、自分の考えを論理的に正確に表現することができる。</p> <p>4) 作品の主題を適格に把握し、登場人物の心理を読み取り、鑑賞することができる。</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	原文を返り点の指示に従って書き下し文に直し、また、正確に日本語訳することができる。	ある程度は原文を返り点の指示に従って書き下し文に直し、日本語訳することができる。	一部は原文を返り点の指示に従って書き下し文に直し、また、日本語訳することができる。		
評価項目2	孔子や朱子の言説を通して、儒家思想の思惟方法を理解し、更には中国思想・文化について関心を広げることができる。	ある程度は孔子や朱子の言説を通して、儒家思想の思惟方法を理解し、更には中国思想・文化について関心を広げることができる。	一部は孔子や朱子の言説を通して、儒家思想の思惟方法を理解し、更には中国思想・文化について関心を広げることができる。		
評価項目3	文学的文章を的確に理解し、筆者の考え方を読み取り、自分の考えを正確に表現することができる。	ある程度は文学的文章を理解し、筆者の考え方を読み取り、自分の考えを表現することができる。	一部は文学的文章を理解し、筆者の考え方を読み取り、自分の考えを表現することができる。		
学科の到達目標項目との関係					
JABEE (a) JABEE C1 JABEE C5					
教育方法等					
概要	前期は儒家の開祖孔子の言行録『論語』の講義、後期は夏目漱石の『行人』を購読する。このように、古典の購読を通して、われわれが人間であることの根源的な意味について考える。				
授業の進め方・方法	講義は1年を通じて古典を扱うので、決して理解は容易ではない。そのため、学業に対する情熱を必要とする。 講義は1年を通じて古典を扱うので、決して理解は容易ではない。そのため、学業に対する情熱を必要とする。				
注意点	<p>1) 『論語』は訓点の指示に従って事前に読んでくること。</p> <p>2) 『行人』は事前に一度通読しておくこと。</p> <p>3) 国語辞典を常に持参して授業に臨むこと。</p>				
ポートフォリオ					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	古典を読むことの意義	渡邊二郎氏の「登攀すべき高き峰々」を読んで、古典の定義及び古典を読むことの意義について学ぶ。	
		2週	宋人の『論語の』の読み方―二程の場合―	原文を介して、程氏兄弟が『論語』をいかなる性格の書として理解しているかを読み取る。	
		3週	宋人の『論語の』の読み方―二程の場合―	同上	
		4週	・「志士仁人」章～「子貢問為」章	訓点の指示に従って『論語』の原文を正確に読み、併せて日本語に翻訳できる力を養う。	
		5週	・「顔淵問為」章	同上	
		6週	・「人無遠慮」章～「臧文仲其」章	同上	
		7週	・「躬自厚而」章～「群居終日」章	同上	
		8週	・「君子義以」章～「君子求諸」章	同上	

後期	2ndQ	9週	前期中間試験	
		10週	試験問題の返却及び解説	試験問題の解説及びポートフォリオの記入
		11週	・「吾嘗終日」章～「君子謀道」章	孔子や朱子の言説を介して、儒家思想の本質を理解する力を養い、中国の文化に関心を広げる。
		12週	・「知及之仁」章	同上
		13週	・「民之於仁」章～「事君敬其」章	同上
		14週	・「有教無類」章～「師冕見及」章	同上
		15週	・「陽貨欲見」章	同上
		16週	試験答案の返却及び解説	試験答案の解説及びポートフォリオの記入
	3rdQ	1週	夏目漱石を読むことの意義	教授者の「読書する力」を読んで、前期に『論語』、後期に夏目漱石の作品を読むことの意義について考える。
		2週	『行人』 友達 一	夏目漱石の作品の文体に慣れるとともに、難しい言葉は辞書を丹念にひいてその意味正確に理解する。
		3週	『行人』 友達 二～三	同上
		4週	『行人』 友達 四～五	同上
		5週	『行人』 友達 六～七	教授者がその都度提示する問題について、適格に答えられるようによく考え、表現できる力を養う。
		6週	『行人』 友達 八～九	同上
		7週	『行人』 友達 十～十一	同上
		8週	『行人』 友達 十二～十三	同上
4thQ	9週	後期中間試験		
	10週	試験答案の返却及び解説	試験問題の解説及びポートフォリオの記入	
	11週	『行人』 友達 十四～十五	本文をに読んで作者の意図を正確に読み取り、それを正確に文章に表現できる力を養う。	
	12週	『行人』 友達 十六～十七	同上	
	13週	『行人』 友達 十八～十九	同上	
	14週	・『行人』 友達 二十～二十一	同上	
	15週	『行人』 友達 二十二～二十三	同上	
	16週	試験答案の返却及び解説	試験問題の解説及びポートフォリオの記入	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
評価割合						
	定期試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0
知識の基本的な理解	30	0	0	0	0	0
思考・推論・創造への適応能力	30	0	0	0	0	0
人間力	20	0	0	0	0	0
総合的な学習経験と創造的思考力	20	0	0	0	0	0